

事務事業名	水道施設地図情報システム整備事業				会計	水道事業		事業種別	経常	開始	17	終了	
H27担当課等名	水道課		H27係等名	上水道整備係		H26係等名		上水道整備係					
基本計画上の位置づけ	政策	4	暮らしと生命を守る安全安心で快適なまちづくり										
	施策	45	居住基盤の向上										
目的	対象(誰・何を)	水道本管施設 給水施設(個人)						対象指標	指標名及び単位			26年度数値	
	意図(どういう状態にするか)	既設(アナログ)台帳を数値化(デジタル)する							数値化本管延長(km)			3	
	向上させたい上位施策の成果指標	居住基盤の満足度							給水管データ更新(件)			238	
目標	種別	指標名及び単位				26年度計画	26年度実績	27年度計画	28年度見込み	備考(指標変更など)			
	成果指標	数値化本管延長(km)				5	3	5	5				
	成果指標	給水管データ更新(件)				600	238	2000	600				
定性目標													
事業概要	水道施設の情報を地図と重ねデジタル化して、コンピューターに記憶保管し維持管理を容易とするため。管網解析モデル構築により、断水時の影響把握による迅速な対応、水質管理による水道水の品質確保を図る。												
26年度事業内容	事業内容					名称			活動指標				
	市内全域水道本管データ化(H25年度施工箇所) 市内全域給水管データ化 100ODM位置補正 水質検査管理機能開発 管路耐震化(更新)計画策定					データ化延長(km) 件数(件) 補正延長(km)			3 238 329.3 一式 一式				
事業コスト		25年度決算額	26年度予算額	26年度決算額	27年度予算額	特定財源内訳、補足							
事業費計(千円)①		14,558	20,520	17,474	20,000								
国庫支出金													
県支出金													
起債													
その他		14,558	20,520	17,474	20,000								
一般財源													
人件費計(千円)②		5,189		8,765									
正規職員所要時間		1,000		2,000									
臨時職員所要時間		1,500		1,500									
総事業費①+②		19,747	20,520	26,239	20,000								
事業内容・目標達成状況の振り返り	当初計画分の補正を完了し、また、現場との突合によりデータ精度が向上した。												
改革改善の考え方	①問題点	下水道施設・都市計画基本図データの整備年次の差による、位置精度が低いデータの更新が課題である。											
	②改革提案	各データとの位置補正を行い精度向上を図る。											